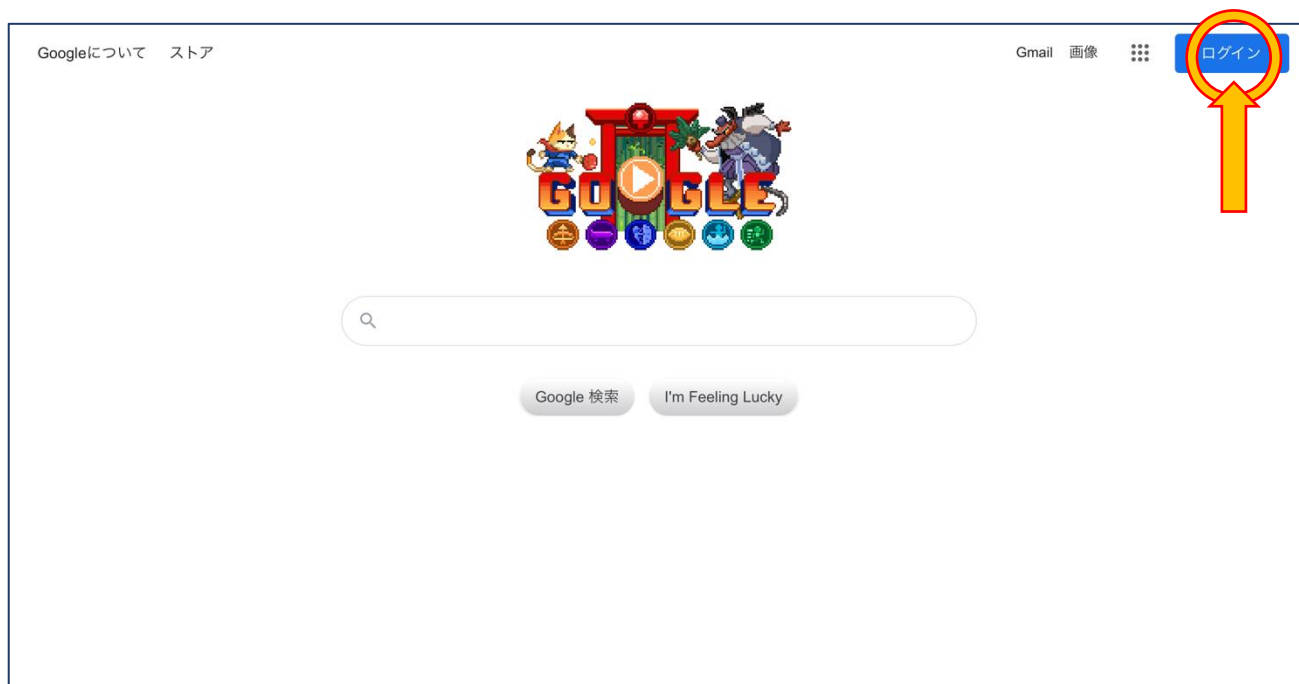


## GoogleClassroom を使おう

コロナの感染が拡大する中、Google Classroom を用いた授業や情報のやり取りが活発化することが予想されます。今回は、Classroom のログインの仕方や、Meet を用いたやり取りの始め方について紹介します。

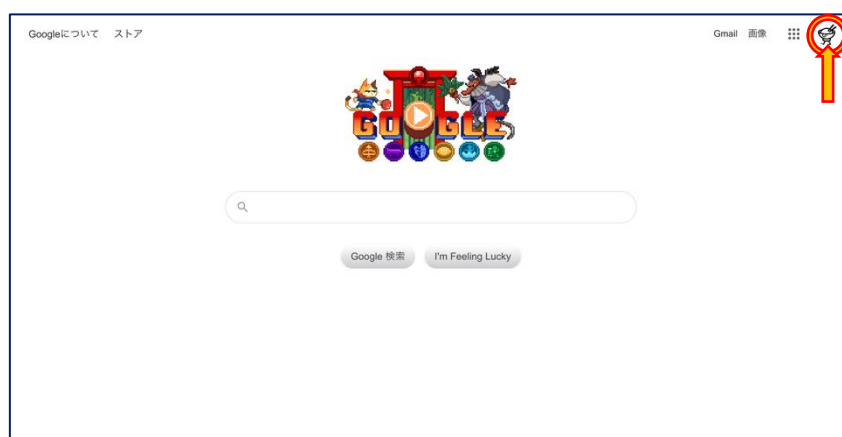
### STEP0 : Google アカウントにログイン

Google Classroom は学校のアカウントに紐付いた機能になります。必ず、「学校のアカウント」でログインしてから以下の操作を始めてください。

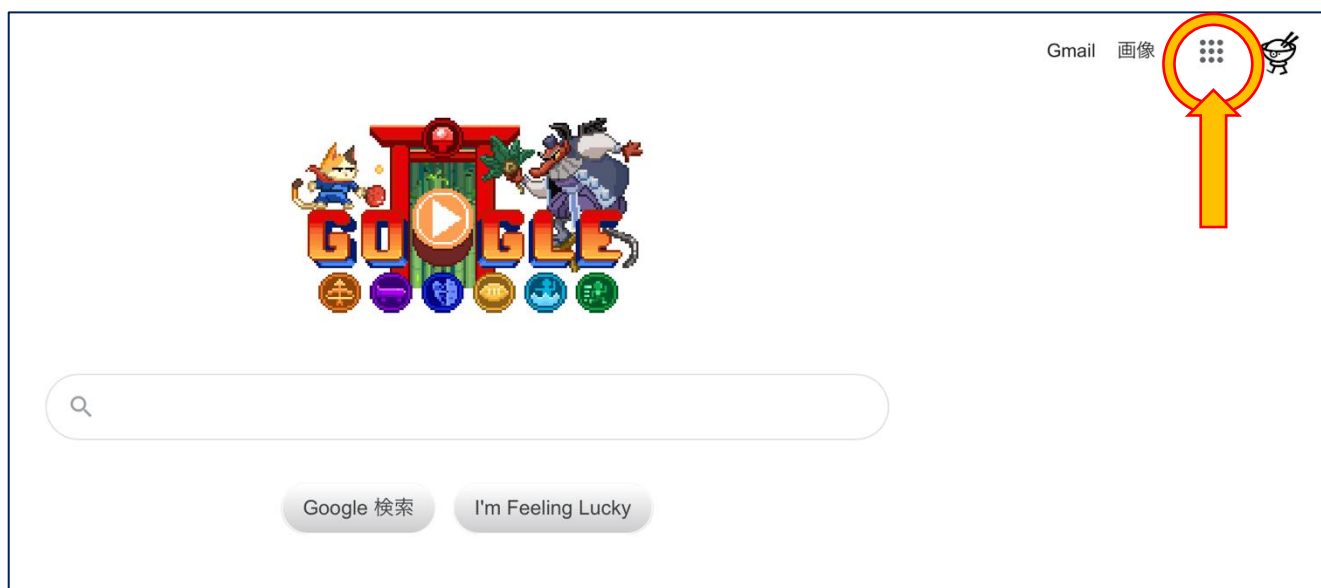


使っている機器（Windows、Mac、iPhone などなど・・・）によって多少ログインの仕方が変わります。基本的には、機器に備わっているインターネットビューワーから Google を検索していただき、右上のログインから「学校のアカウント」にログインしてください。

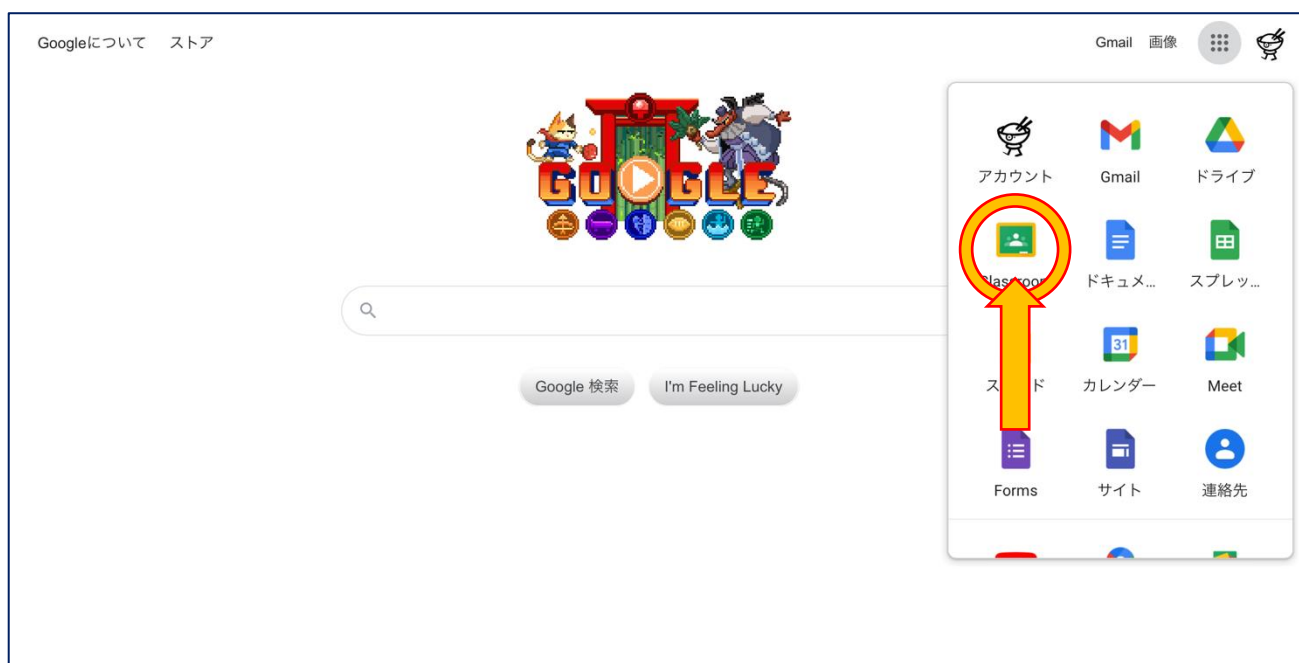
右のアイコンが学校のものになっていることを確認したら次に進みましょう。



## STEP 1 : Classroom のログイン

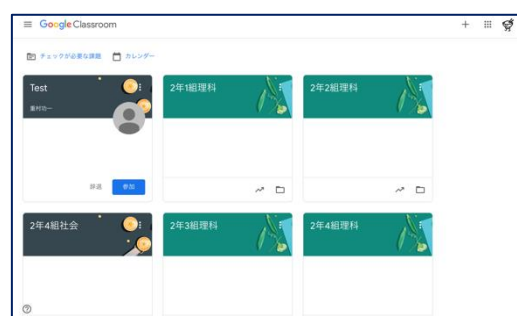


次に Classroom にログインします。右上にある点が9つ並んだボタンを押します。



出てきたアイコンの中から Classroom をクリックします。

人によって若干違いますが、右のようなページが出てくると  
思います。



並んでいるアイコンが各授業のページになります。まずは、各先生から来ている授業に参加しましょう。

各アイコンの右下に「参加」がついているものは、まだ参加できていません。まずは参加をクリックして授業に参加しましょう。



参加が終わると、次のようなページが出てきます。



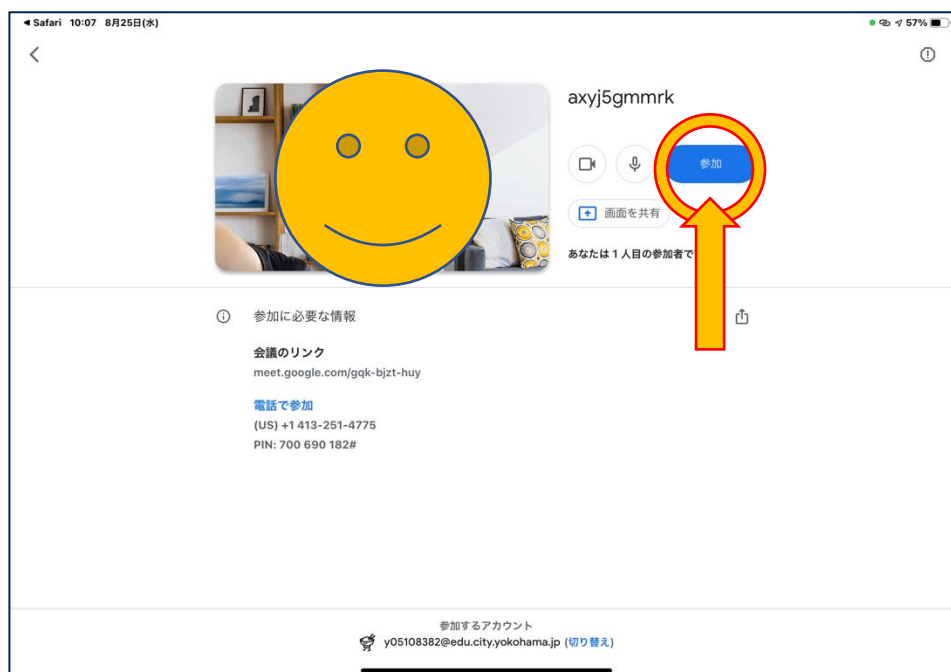
- ①授業の名前：授業の名前です。自分のクラスなどと合っているか確認しましょう。
- ②Meet のリンク：Google の会議ソフト Meet です。（Zoom などと同じシステム）普段はこのリンクはなく、先生が必要な場合には、こちらにリンクが生まれます。クリックすると Meet に飛びます。
- ③最新の連絡：先生から出された課題や資料などがここに表示されます。
- ④授業の資料のページ：③で出てきた課題や資料などを詳しく見る場合には、こちらをクリックしましょう。

これで、Classroom へのログインはおしまいです。

## STEP2 : Meet を使おう



次に、会議システム Meet の使い方です。先生が Meet を許可すると、こちらにリンクが作られます。このリンクをクリックしましょう。(クリックした時に、使っている機器によってすぐに動き出す場合とアプリなどのダウンロードが必要な場合があるかもしれません。その場合には、その流れに従ってください)



クリックすると、このような画面になると思いますので、参加をクリックしましょう。Meet に参加できます。また立ち上がる時に「マイクとカメラの使用を許可するか」聞かれますので、許可をしてください。



Meet が始まったら、こちらのマイクボタンを押して、図の状態（斜め線が入っている状態）にしておきましょう。この状態のときは、自分の音が相手に伝わりません。同じく、隣のビデオボタンに斜め線が入っていれば画面も映らず、アイコンになります。

普段は、 ビデオはON マイクはOFF にしておきましょう。先生から指示があった場合にはその指示にしたがってください。また右端の「:」ボタンの中にチャットがありますので、マイクが ON にできない場合には、こちらからチャットで伝えましょう。

Meet が終わったら、赤い電話ボタンで通話を終わることができます。また先生が一斉に切ることもできます。



今回はここまで使って、先生と直接連絡できる仕組みを練習したいと思います。

「指定された時間」に「各クラスの学活」から Meet に入り、先生とのやり取りをしてみましょう。